

デリカフーズグループ 新中期経営計画 「keep on trying 2027」 策定のお知らせ

デリカフーズホールディングス株式会社（本社：東京都足立区、代表取締役社長：大崎 善保、以下、「当社」）は、このたび2024年度からの3年間を計画期間とする新たな「中期経営計画『keep on trying 2027』（以下、「本計画」）」を策定しましたので、お知らせします。

・当社ホームページ「中長期経営計画」<https://www.delica.co.jp/ir/#content-item-13>

パーパスの設定

野菜の未来を変える。野菜で未来を変える。

形がわるい、傷がある、とれすぎたと捨てられる野菜。加工や流通・消費の過程で残念にも捨てられてしまう野菜。価格競争のなか、野菜本来の価値が認められない現在。そんな**野菜の未来**を変える。野菜は私たちの食事を豊かに、健康に導く天の恵み。野菜の未来を変えれば、**私たちの未来**も必ず変わる。

農業と青果物の価値を高める (農業に最大限の理解と協力)	持続可能な農業への貢献 (日本農業の未来を変える)
青果物の廃棄を無くす商品開発 (天の恵みを100%使いきる)	フードロスの削減に貢献 (世界の食糧問題を変える)
青果物による豊かな食生活の提案 (野菜と健康の結びつきを解明)	健康寿命の延伸に貢献 (健やかで豊かな社会に変える)

Copyright © DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD. 17

第五次中期経営計画の位置づけ

✓ 第四次中期経営計画で供給体制整備が完了し、新たな成長ステージがスタート
✓ FY2024～の第五次中期経営計画は、“つなぐ企業”から“変える企業”への転換点

長期ビジョン(10年後のありたい姿)

売上高	1,000億円
経常利益率	4～5%
ROE	10～15%程度
重点戦略	企業価値創造 ESG経営 事業領域の拡大

第五次中期経営計画 FY2024～2026

次期中期経営計画 FY2027～

Firstフェーズ (第一次～第四次中期経営計画)

DFG Secondフェーズ

Copyright © DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD. 19

■本計画の策定にあたり

いま、日本農業は、担い手の減少、耕作放棄地の増加、外国産農産物との競争激化といった様々な課題に直面しています。一方、人生100年時代をまえに、健康志向の高まりや、より豊かで便利な生活への要望など、消費者ニーズを捉えた青果物の流通加工と、安定供給体制の構築が求められています。

こうした中、当社は、「青果物加工流通分野」において、創業期より野菜の価値を追求し、未来に向けた「持続可能な農業」と「食を通じた健康増進」を実現する付加価値創造企業として、数々の施策を重ねてまいりました。また、2010年に掲げた「全国FS化（フレッシュ&スピーディー）計画」は2024年4月、全国9拠点目となる大阪FSセンターの開設により、当初の計画通りの供給体制が整いました。

今般、新たな成長フェーズのスタートに当たり、中長期目線で時代の変化を見据え、社会における自社の存在意義を改めて明確化するため、新たにパーパス「野菜の未来を変える。野菜で未来を変える。」を設定しました。そして、パーパスを起点にした成長の先にある自社のありたい姿として、以下の長期ビジョンを策定しました。

【長期ビジョン】

1. 野菜の総合加工メーカーとしてのポジションを確立
2. 持続可能な農業の実現
3. 個人の幸福と会社の繁栄の両立を実現

本計画は、今般設定したパーパスを体現し続けた先にある長期ビジョン（10年後のありたい姿）の実現に向けた第一歩、すなわち“つなぐ企業”から“変える企業”への転換点として位置づけられます。

■ 本計画の概要

【事業戦略】

基本方針	取組み内容
各種ポートフォリオの変革	事業ポートフォリオの変革 顧客ポートフォリオの変革 商品ポートフォリオの変革
青果物サプライチェーンの構造改革	輸入野菜の国産化推進 調達インフラの再構築 青果物サプライチェーンの合理化
研究部門・開発部門への投資拡大	野菜を中身で評価 長期保存技術の研究推進 新規事業・商品開発の強化

【サステナビリティ】

マテリアリティ	取組み内容
天の恵みである野菜を100%使い切る	<ul style="list-style-type: none"> 野菜残渣リサイクルの推進 規格外野菜や端材を有効活用した自社製品の拡充 鮮度保持技術の開発
地球環境問題への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 配送ルート効率化によるCO₂排出量の削減 デマンドコントロールによる使用電力量削減
心身両面における健全性を 実現する人的資本政策	<ul style="list-style-type: none"> 従業員のエンゲージメント向上 人財育成強化 多様な人財の活躍とそこから生まれるイノベーション
健康で住みやすい社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の分析・中身評価による 青果物の価値向上 総合的品質指標（デリカスコア）に基づく双方向情報共有 各種CSRの継続的な推進
堅確な食品安全マネジメント システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> 食品安全文化の醸成 FSSC22000 取得拠点数の増加
「損得の前に善悪」で考える 公正かつ堅確な企業運営の実践	<ul style="list-style-type: none"> 予防に重点を置いた危機管理委員会運営 ヘルプライン、投稿箱など、従業員の声を汲み上げる仕組みの活用推進 サプライチェーンガバナンスの徹底

【財務戦略】

基本方針	取組み内容
キャッシュフローの配分適正化	内部留保、成長戦略投資、株主還元のバランスについて見直しを実施
配当性向目線の転換	大型設備投資の一巡を踏まえ、 「20%目標」 ⇒ 「30%程度」へ
資本コストを意識した取組みの強化	株主・投資者との対話における質・量両面での拡充を通じ、期待収益率を踏まえたKPIの達成を図る

主要数値目標(財務) ※連結ベース

	2024年 3月期[実績]	2025年 3月期[目標]	2027年 3月期[目標]	長期ビジョン
売上高	528億円	550億円	600億円	1,000億円
経常利益 (経常利益率)	12.5億円 (2.4%)	10.5億円 (1.9%)	18億円 (3.0%)	40億円～ 50億円 (4%～5%)
〔EBITDA〕	21.3億円	22億円	28億円	
ROE	12.3%	7.2%	10.2%	10%～ 15%程度

【ご参考】 想定する現状の株主資本コストの水準：5%～10%程度

Copyright © DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.

主要数値目標(非財務)

	2024年 3月期[実績]	2027年 3月期[目標]
野菜残渣のリサイクル率	50%	60%
CO ₂ 排出量削減率 (物流部門・売上高当たり原単位)	—	2024/3期比 ▲10%
従業員エンゲージメントスコア (物流部門除く/100pt.満点)	72pt.	80pt.
女性管理職比率 (物流部門を除く)	21.5%	23%
従業員の声を集める 「4つの箱」への投稿件数(*)	54件	130件

*ハルプライン、投稿箱、改善アイデアボックス、リズベクトカード

Copyright © DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD. 39

■全てのステークホルダーの信頼に応えるために

当社を取り巻く経営環境は、世界経済の緩やかな回復基調はあるものの、コロナ禍後の生活様式の変化、常態化するインフレや金融不安、地政学リスクの増大など、大きな変化の渦中にあり、依然として予断を許さない状況です。

そんな不確実性の時代において、デリカフーズグループは、青果物流通加工業界のトップランナーとして持つリソースとノウハウをいかに発揮し、野菜の未来を変えてまいります。そして、お客さま一人ひとりに笑顔をお届けすることから地球レベルの環境問題の解決に至るまで、野菜の力で未来を前向きに変えてまいります。

デリカフーズホールディングス株式会社 概要

代表者：大崎 善保

所在地：東京都足立区六町 4-12-12

創業：1979年10月

資本金：17億7,236万円

従業員数：747名（連結）

事業内容：青果物流通で日本の農業と健康をつなぐ企業。青果物の加工販売事業を中心に、物流事業・研究開発・コンサルティング事業など青果物ビジネスを全国展開。

企業サイト：<https://www.delica.co.jp/>



<本件に関するお問い合わせ>

■デリカフーズホールディングス株式会社 広報 IR 室：片山・桑原

TEL：03-3858-1037 E-mail：pr-and-ir@delica.co.jp